

科目名		担当教員名	学期
税務の基礎理論（租税法と経済学） Basic Theory of Taxation (Tax Laws and Economics)		渡辺 智之	夏季 集中
目的	税務に関する基礎的な知識の習得と理解を目的にする。主として、税務関連の勉強をしたことがないという初心者の学生を念頭に置いている。受講者には、税制の基本的なフレームワークを法律と経済学の両面から理解するとともに、そのような基礎的理解がタックス・プランニングを含む税の実務にどのようにかかわりあっているのか、を考えていけるようになってほしい。		
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課税の経済理論の概説、日本の税制の概要 2. 租税法の基本的性格 3. 所得概念と所得課税 4. 法人税の基本的考え方 5. 国際課税の基礎 6. タックス・プランニングの考え方 		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 所得税と法人税の基礎的な仕組みを把握する。 2. 国際課税の基礎についての理解を得る。 3. タックス・プランニングの基本的な仕組みを理解する。 		
成績評価の 基準と方法	事前作成レポート（30%）、まとめと理解度チェック（60%）、平常点（授業への貢献度等）（10点）により、100点満点で評価する。単位取得のためには、事前作成レポートの提出と第6日目の午後に行う期末理解度チェックを受けることが必要となる。		
履修条件	租税法・経済学などに関する予備知識は前提としない。ただし、この夏季集中講義は、短期間に多くの項目をこなしていく必要があるために、一定の事前準備をしてもらう必要がある。このため、課題図書をあらかじめ読んだ上で事前にレポートを作成し、第1日目に提出してもらう予定である。詳細は、追って指示する。		
授業計画			
第1日	<p>ミクロ経済学の復習と租税の経済学の基礎（帰着と超過負担を中心に）</p> <p>日本の税制の概要</p> <p>タックス・プランニングの考え方の基礎</p>		
第2日	<p>租税の根拠・租税法律主義</p> <p>租税法の解釈と租税回避</p> <p>課税ベース・所得課税と消費課税</p>		
第3日	<p>所得税法の概要</p>		
第4日	<p>所得税法の概要（続）</p> <p>法人税の基本的性格</p>		
第5日	<p>企業組織再編税制の基礎</p> <p>消費税法の基本</p> <p>国際課税の基礎</p>		

<p>第 6 日</p>	<p>国際課税：最近の問題 タックス・プランニングの事例 期末理解度チェック</p>
<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『租税法入門』 増井良啓著（有斐閣、2014年） ・『租税法概説（第2版）』 中里実他編（有斐閣、2015年） ・『税務戦略入門：タックス・プランニングの基本と事例』 渡辺智之著（東洋経済新報社、2005年） ・『スタンダード所得税法（第2版）』 佐藤英明著（弘文堂、2016年）
<p>その他 特記事項</p>	<p>特になし。</p>